

平成29年度（2017年度）

事業報告書

平成29年(2017年)4月1日から平成30年(2018年)3月31日まで

公益財団法人 損保ジャパン日本興亜美術財団

I 美術館関係事項

1. 美術作品の収集、保存、公開

<1> 特別展

(1) フランス絵画の宝庫 ランス美術館展 ダヴィッド、ドラクロワ、ピサロ、ゴッコン、フジタ…
(4月22日～6月25日)

共催:東京新聞 協賛:損保ジャパン日本興亜
後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本
協力:エールフランス航空/G. H. マム
企画・監修:ランス美術館
企画協力:プレーントラスト

本展は、フランス北東部シャンパーニュ地方にある、ランス美術館の所蔵作品から、17世紀から20世紀まで、選び抜かれた作品68点を展示、華麗なるフランス絵画の歴史をたどった。また、ランス市に縁の深いレオナルド・フジタの作品群も合わせて紹介した。1階美術館ロビーでは、ランス市にある平和の聖母礼拝堂の映像(5分間)を流した。金曜日は開館時間を延長し、19時閉館とした。

【関連行事等】

- ① 開会式・内覧会 (4月21日)
展望回廊において開会式を行い、当館館長とフランス大使館文化担当官、ランス美術館総館長が挨拶し、内覧会を開催した。
- ② プレス向け内覧会 (4月21日)
開会式に先立ちプレス向け内覧会を開催し、当館及び熊本県立美術館の学芸員が展示室において作品解説を行った。
- ③ 学芸員によるギャラリー・トーク(自由参加) (4月28日、5月6日)
- ④ ギャラリー★で★トーク・アート(予約制) (6月12日)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会を行った。参加者:47名

【掲載誌等】

共催の東京新聞をはじめ、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞ほか、The Japan Times、雑誌、ケーブルテレビ、インターネットの情報サイト等でも幅広く取り上げられた。

(2) 生誕 140 年 吉田博展 山と水の風景

会期:7月8日(土)～8月27日(日)

共催:毎日新聞社 協賛:損保ジャパン日本興亜、ニューカラー写真印刷

特別協力:福岡市美術館 協力:モンベル

明治から昭和にかけて風景画の第一人者として活躍した吉田博(1876-1950)の生誕140年を記念する回顧展。本展では、水彩、油彩、木版へと媒体を展開させていった初期から晩年までの作品より200余点を厳選し、作家の全貌とその魅力に迫った。会期中で水彩画及び木版画66点の展示替を行った。

1階美術館ロビー及び展望回廊では吉田博の画業や版画の技術を映像で紹介した。

8月18日には、皇太子殿下の行啓を賜り、二宮理事長、中島館長がお出迎え、監修の安永幸一氏が展示室内で作品解説を行った。

【関連行事等】

- ① 開催記念講演会「吉田博—その人と芸術」(予約制) (7月22日)
2階大会議室において、元福岡市美術館副館長の安永幸一氏による講演会を午後2時から約2時間程度開催した。(参加者:181名)
- ② 学芸員によるギャラリートーク(自由参加) (7月14日、28日)
- ③ ワークショップ「木版画の摺りを体験しよう」(予約制)
(8月6日午後1時、午後3時)
1階ロビーにおいて、版画家の吉田司氏と摺り師沼辺伸吉氏を講師に招き、版木を使った木版画の摺りを体験してもらった。(参加者:各回20名)
- ④ ふぁみりー★で★とーく・あーと(予約制) (8月21日午前・午後)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会を行った。参加者合計:87名(うち中学生以下13名)
- ⑤ 会期中、展望回廊に、作品画像を背景に観覧者が撮影できるフォトスポットを設置した。

【主な掲載誌等】

- ① NHKEテレ「日曜美術館」本編で巡回館として紹介された。
(2016年7月10日、再放送2017年1月29日)
- ② FMえどがわの生放送番組で展覧会の見どころ等を紹介した。(6月29日放送)
- ③ 共催の毎日新聞に寄稿し作品解説を行った。(7月14日付、21日付朝刊)
- ④ 毎日新聞をはじめ、産経新聞、美術雑誌、インターネット、ラジオ等で幅広く取り上げられた。

(3) 生誕120年 東郷青児展 抒情と美のひみつ

会期:9月16日(土)~11月12日(日)

共催:産経新聞社、テレビ朝日 協賛:損保ジャパン日本興亜、みずほ銀行

後援:公益社団法人二科会、新宿区教育委員会

二科会を中心に活動した洋画家・東郷青児(1897-1978)の生誕120年を迎えるにあたり、初公開のプライベートコレクションを含む貴重な作品を全国から集めた特別回顧展を開催、「東郷様式」と呼ばれたスタイルがどのように作られたのかをひもといた。激動の時代に抜群の知名度を誇った画家の多彩な仕事ぶりを、美術作品72点と出版物等の資料39点、参考写真42点で振り返った。

【関連行事等】

- ① 開会式及び内覧会 (9月15日)
展望回廊において開会式を行い、当館館長と二科会理事長田中良氏が挨拶し、引き続き内覧会を開催した。
- ② プレス・ブロッガー向け内覧会 (9月19日)
担当学芸員が展示室において作品解説を行った。
- ③ 学芸員によるギャラリートーク(自由参加) (9月24日、10月7日)
- ④ お客様感謝デー無料観覧日 観覧者数:2,148名 (10月1日)

- ⑤ [中秋の名月]特別夜間延長デー (10月4日)
開館時間を午後8時まで延長し、展望回廊から東京都心の夜景と中秋の名月を楽しんでもらった。午後6時半からは15分程度のミニコンサートを開催した。
- ⑥ ギャラリー★で★トーク・アート(予約制) (10月30日)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会を行った。参加者:48名(うち中学生1名)
- ⑦ 会期中、展望回廊に東郷青児《ヴァイオレット》を複製したフォトスポットを設置し、展覧会をイメージして作られたオリジナル曲(作曲・演奏:バイオリニスト相知明日香氏)を流した。

【主な掲載誌等】

- ① 月刊美術8月号の「この夏みたい、美術館・博物館のこの名品」特集で展覧会を紹介した。
- ② 月刊美術9月号の物故作家特集に寄稿し、東郷青児及び展覧会を紹介した。
- ③ 新美術新聞9月21日号に寄稿し、展覧会を紹介した。
- ④ テレビ東京「美の巨人たち」において東郷青児《望郷》が取り上げられ、展覧会が紹介された。(9月30日放送)
- ⑤ NHKEテレ「日曜美術館」アートシーンで展覧会が紹介された。(10月1日放送)
- ⑥ 朝日新聞「美の履歴書」において《紫》が紹介された。(10月17日付朝刊)
- ⑦ 共催の産経新聞に寄稿し、展示作品を紹介した。(11月2日付朝刊)
- ⑧ 1923年に撮影されたとみられる東郷青児の写真が発見されたというニュースに関連して、産経新聞をはじめ、読売新聞、毎日新聞、共同通信、美術雑誌他一般誌、インターネット、ラジオ等で幅広く取り上げられた。

(4) 日本・デンマーク国交樹立150周年記念 デンマーク・デザイン

会期:11月23日(木・祝)~12月27日(水)

共催:日本経済新聞社 協賛:損保ジャパン日本興亜 後援:デンマーク大使館

展示協力:PP Møbler ApS,Kvadrat A/S 企画協力:ブレントラスト

本展では、デンマーク・デザイン博物館の学術協力のもと、19世紀後半からミッド・センチュリーを経て現在に至る、家具、食器、照明器具、日用品等を一同に展示し、デンマークデザインの魅力に迫った。

金曜日は開館時間を延長し、19時閉館とした。

【関連行事等】

- ① プレス・ブロッガー向け内覧会 (11月22日)
展示室において、デンマーク公使参事官マーティン・ミケルセンが挨拶し担当学芸員が作品解説を行った。
- ② 学芸員によるギャラリー・トーク(自由参加) (12月1日、15日)
- ③ 開催記念講演会「ヒュゲを愛する暮らしのかたち」(予約制)
(12月9日)
当ビル2階大会議室において、北欧デザインジャーナリスト萩原健太郎氏による講演会を午後2時から約1時間開催した。(参加者:72名)
- ④ ギャラリー★で★トーク・アート(予約制) (12月18日)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会を行った。参加者:25名(うち中学生以下1名)

- ⑤ 会期中、展望回廊にデンマークのクリスマスをイメージしたフォトスポットを設置。
- ⑥ 展望回廊でクリスマスミニコンサートを開催した。(12月2日)

【主な掲載誌等】

共催の日本経済新聞をはじめ、産経新聞、美術雑誌他一般誌、インターネット、ラジオなどで幅広く取り上げられた。

<2> 企画展

(1) クインテットⅣ－五つ星の作家たち－

会期:1月13日(土)～2月18日(日)

共催:朝日新聞社 協賛:損保ジャパン日本興亜

本展は、国内外の美術館企画展などで継続的な作品発表の実績があり、将来有望な5人の作家たちを紹介する「クインテット(五重奏)」と題するシリーズ企画の第4弾。

今回のテーマは「具象と抽象の狭間」で、青木恵美子、竹中美幸、田中みぎわ、船井美佐、室井公美子の近作・新作83点を展示した。

本展では、一般観覧者に作品の撮影を許可(フラッシュ不可)した。

【関連行事等】

- ① 開会式及び内覧会 (1月12日)
展望回廊において開会式を行い、当館館長及び学芸課長が挨拶し、出品作家5名を紹介した。
- ② アーティスト・トーク(自由参加) (1月13日、20日)
展示室において、出品作家が一般観覧者を対象に作品解説を行った。
- ③ ギャラリー★で★トーク・アート(予約制) (2月5日)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会を行った。参加者:14名

【主な掲載誌等】

- ① 「美術の窓」1月号に寄稿した。
- ② 共催の朝日新聞をはじめ、毎日新聞、産経新聞、美術雑誌等で紹介された。

(2) 「FACE展2018 損保ジャパン日本興亜美術賞展」

会期:2月24日(土)～3月30日(金)

共催:読売新聞社 協賛:損保ジャパン日本興亜

本展は、財団設立時からの作家支援活動の理念を継承した公募コンクール形式の第6回目であり、970点の応募作品から五次の「入選審査」と二次の「賞審査」を経て選考された71点の入選作品(うち受賞作品9点)を紹介した。

VOCA展2018(上野の森美術館 会期:3/15～3/30)と連携し、相互の観覧券のセット券(あちこチケッ)の前売販売のほか、チケッ(半券可)提示による観覧料割引を実施した。本展では、一般観覧者に作品の撮影を許可(フラッシュ不可)した。

【関連行事等】

- ① 内覧会及び表彰式 (2月23日)
内覧会に先立ち、展示室にて入選作家を対象にした審査員による審査講評を実施、その後受賞作家9名の表彰式を行った。レセプションでは、入選作家と審査員、美術評論家等の交流の場を提供した。

- ② ギャラリー★で★トーク・アート(予約制) (3月26日)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会を行った。参加者:9名

【主な掲載誌等】

- ① 読売新聞に展覧会の概要及び受賞作品を広告掲出した。(2月22日付夕刊)
② 受賞者の出身地である埼玉新聞、上毛新聞等で受賞者や作品が紹介された。

<3> 併設展示

(1) 常設展示コーナー

ゴッホ《ひまわり》、ゴーギャン《アリスカンの並木路、アルル》、セザンヌ《りんごとナブキン》は常時展示した。

【主な掲載誌等】

- ① 日本経済新聞の特集記事「日本のゴッホ(上)」において、当館の《ひまわり》が掲載された。(6月18日付朝刊)
② 「ひまわりプロジェクト」への協力
ゴッホ《ひまわり》を収蔵する5つの美術館(ロンドン、アムステルダム、ミュンヘン、フィラデルフィア、当館)が連携し、各館の学芸員が収蔵する《ひまわり》を紹介する動画を作成。FacebookやYouTubeにおいて配信するとともに5つの《ひまわり》を一堂に展示したバーチャル美術館の映像を公開している。当館ウェブサイトでも、当該サイトへのリンクを貼るとともに日本語訳を掲載している。このプロジェクトはNew York Times(現地8月11日付)で紹介された。
③ 映画『セザンヌと過ごした時間』(配給開始 9/2~)、『ゴッホ 最後の手紙』(配給開始 11/3~)、『ゴーギャン タヒチ、楽園への旅』(配給開始 2018/1/27~)の上映にあたり、都内の映画館と連携し当館の常設作品を紹介した。

(2) 収蔵作品展示コーナー

特別展及び企画展に併設し、東郷青児、グランマ・モーゼス作品を中心に館蔵品を展示した。

- ① 「ランス美術館展」では、ジョルジュ・ルオー《悪の華》の連作より3作品及びランス美術館展に関連して藤田嗣治《家》を展示した。
② 「吉田博展」では、当館が個別に借用した吉田博《興津の富士》を、「東郷青児展」では、新たに寄贈を受けた東郷青児《南莞爾氏像》を展示した。
③ 「FACE展2018」では、去年のグランプリ作品、青木恵美子《INFINITY Red》を展示した。

【主な掲載誌等】

テレビ東京「美の巨人たち」において、グランマ・モーゼスが取り上げられ、日本で作品が見られる美術館として、当館の展示室風景と《砂糖づくり》が紹介された。

(12月16日)

<4> 展覧会及び館蔵品解説

(1) 図録・解説書の刊行

- ① 「ランス美術館展」図録
② 「ランス美術館展」ジュニア版ブックレット
③ 「吉田博展」図録
④ 「吉田博展」ジュニア版ブックレット
⑤ 「東郷青児展」図録

- ⑥ 「デンマーク・デザイン」図録
- ⑦ 「クインテットⅣ」図録
- ⑧ 「FACE展2018」図録

(2) 講演会 (7月22日、12月9日)
「吉田博展」「デンマーク・デザイン」展では、一般を対象に専門家による開催記念講演会を開催した。

(3) 上映会、トークイベント (8月16日)
当ビル2階大会議室において、映画『セザンヌと過ごした時間』の試写会を開催し、上映後、当館学芸員とゲストの結城昌子氏がトークイベントを行った。(参加者:86名)

(4) ギャラリートーク、アーティストトーク
特別展では、学芸員が一般観覧者を対象にギャラリー・トークを実施。「クインテットⅣ」では、出品作家5名が作品を前に一般観覧者を対象に作品解説を行った。

(5) 諸団体への対応

月 日	団体名・人数	内容
5/9	朝日カルチャーセンター 10名	美術講座「『ランス美術館展』の見どころ」の講師
5/24	和歌山県立向陽中学校 修学旅行班別行動 7名	美術館概要説明
10/13	日本放送協会文化センター 前橋教室 20名	「東郷青児展」解説

<5> 展覧会別観覧者数

会期	展覧会名	開館 日数	有料 観覧者数	無料 観覧者数	合計 観覧者数	1日 平均
4/22～6/25	ランス美術館展	56	19,014	17,158	36,172	646
7/8～8/27	吉田博展	45	48,342	20,434	68,776	1,528
9/16～11/12	東郷青児展	52	16,570	18,926	35,496	683
11/23～12/27	デンマーク・デザイン	31	7,845	13,439	21,284	687
1/13～2/18	クインテットⅣ	33	4,128	6,710	10,838	328
2/24～3/30	FACE展2018	30	3,614	4,898	8,512	283
合計		247	99,513	81,580	181,093	733
<参考>昨年度合計		257	76,070	82,051	158,121	615

<6> 館蔵品・資料・文献の収集・整備

(1) 美術品の購入 (2月23日)
「FACE2018 損保ジャパン日本興亜美術賞」 グランプリ作品
(作者)仙石 裕美
(題名)それが来るたびに跳ぶ 降り立つ地面は跳ぶ前のそれとは異なっている
(制作年)2017年 (材質)アクリル・油彩・キャンバス (寸法)194×162cm

- (2) 美術品等の受贈 (6月19日)
東郷青児《南莞爾氏像》1940年 油彩・キャンバス 65.5×50.4cm
- (3) 美術品等の受託
- ① 吉田博《興津の富士》 油彩・キャンバス 61×80.5cm (1月15日)
 - ② ロラン・ホルスト「ファン・ゴッホ展」図録 17.5×21.0cm (2月6日)
 - ③ 青木恵美子《静かな始まり》
アクリル・油彩・パステル・キャンバス162×112cm (3月26日)
- (4) 館蔵品の保全
- ① ゴッホ《ひまわり》は定期メンテナンスを行った。(4月13日～4月20日)
 - ② 東郷青児《南莞爾氏像》修復 (6月)
 - ③ 岸田夏子《桜華(金箔)》の修復 (3月)
 - ④ 館蔵品100点分のカラーポジフィルムをデータ画像に媒体転換した。(3月)
- (5) 館蔵品の貸与

作品名	貸与先等
ルノワール 油彩2点 《帽子の娘》《浴女》	「ルノワール展」(1/14～4/16) 宮城県美術館
ユトリロ 油彩 《モンマルトルのサクレ＝クール寺院》	「モーリス・ユトリロ」展 姫路市立美術館(4/8～7/2)
山口華楊 日本画 《幻化》 藤田嗣治 油彩 《猫と少女》	「近現代日本絵画展」(6/10～7/9) 松坂屋美術館(名古屋)
東郷青児 油彩2点 《野辺の花》《ベニス空》	三木美術館(姫路市) (6/16～2018.5/8)
東郷青児 油彩24点、 素描4点、木版画1点 ピカソ 版画 《抱擁》 シャガール 版画 《よく見る夢》	「生誕120年東郷青児展」巡回 ふくやま美術館(福山市) (7/8～9/3) 久留米市美術館 (11/23～2018.2/4) あべのハルカス美術館(大阪市) (2018.2/16～4/15)
東郷青児 油彩 《バンティミーユの女》 有島生馬 油彩 《黒衣の女》	「第23回秘蔵の名品 アートコレクション展 佳人礼賛-うるわしの姿を描く-」 ホテルオークラ東京(7/31～8/24)
ピカソ 油彩 《宝石》(裏《裸体男性像》) ユトリロ 油彩 《モンマルトルのサクレ＝クール寺院》 東郷青児 油彩2点 《婦人像》《自画像》	「富山県美術館開館記念展 Part 1 生命と美の物語 LIFE - 楽園をもとめて」 富山県美術館(8/26～11/5)
ルノワール 油彩 《浴女》	「Claude Monet collectionneur (コレクター、クロード・モネ)展」マルモッタン・モネ美術館 (9/14～2018.1/14)

(6) 資料の貸出

東郷青児関連資料 パンフレット1点 『草の葉会ご案内』(1935年)	「MOMAS コレクション[IV]」 埼玉県立近代美術館(2018.1/6～4/15)
--	--

(7) 著作権の管理

当館が管理する著作権に関し、31件の許諾を出した。

<7> 調査・研究

(1) 図録・解説書の製作等

- ① 「ランス美術館展」では、展覧会図録の翻訳を行うとともに小中学生を対象に展示内容を簡潔に解説したジュニア版ブックレットを刊行した。
- ② 「吉田博展」では、ジュニア版ブックレットを作成した。
- ③ 「クインテットⅣ」と「FACE展2018」では展覧会図録を作成した。
- ④ 当館の活動を報告する「美術館REPORT2017」を発行した。

(2) 展覧会監修

「生誕120年 東郷青児展」は当館が企画・監修し、当館のほか3会場に巡回させた。

ふくやま美術館 2017年7月8日～9月3日 58日間 12,276名

久留米市美術館 2017年11月23日～2018年2月4日 74日間 18,030名

あべのハルカス美術館 2018年2月16日～4月15日 59日間 41,619名

(3) その他執筆・講演活動等

- ① ふくやま美術館で開催された「生誕120年 東郷青児展」で講演を行った。
(7月8日)
- ② 他館の東郷青児作品の収蔵にあたり、価格評価委員の委嘱を受けて作品評価に協力した。
(2月5日)

2. 展覧施設の運営管理

<1> 施設・設備等の整備、防災訓練等の実施

- (1) 美術館フロアの定期清掃(絨毯洗浄、ワックスがけ)及び虫害防除作業を実施した。
(4月1日、3日)
- (2) 放送設備用音量調整器を移設し、展示用壁面積を増やした。
(4月1日)
- (3) 経年劣化のため、展示室内の壁面塗装を実施した。
(4月4日～7日)
- (4) ひまわり展示収蔵庫内側のガラス清掃を実施した。
(4月12日)
- (5) 42階美術館フロアに来館者用の公衆無線LANを設置した。
(5月9日)
- (6) 美術館の閉館を知らせる案内に英語での放送も開始した。
(5月24日)

<2> 頒布品の製作・販売

- (1) 以下の頒布品を新たにミュージアムショップで販売した。

特別展	展覧会関連の頒布品や書籍
クインテットⅣ	出品作家の小作品、絵はがき、カタログ
通年販売(新規)	ゴッホ《ひまわり》ポップアップカード マスキングテープ3種、ミラー4種、 東郷青児切手シート
期間限定販売(4月～6月)	ひまわりの種(2種)
期間限定販売(9月～12月)	2018年版カレンダー2種 「グランマ・モーゼス」「東郷青児」

(2) 他館での販売

「生誕120年 東郷青児展」巡回館であるふくやま美術館、久留米市美術館、あべのハルカス美術館において、当館の東郷青児の頒布品を委託販売した。

3. 美術鑑賞教育の普及支援

<1> 対話による美術鑑賞

(1) 新宿区小中学生の美術鑑賞教育支援事業

「新宿区における美術振興を図るための協働連携に関する覚書」に基づき、今年度も(公財)新宿未来創造財団と「新宿区立小学校及び新宿区立中学校の美術鑑賞教育に関する協定書」を締結し、ガイドスタッフの協力を得て、事前授業及び休館日の鑑賞会を実施した。

また、この事業を紹介するためのパンフレット「新宿区的美術館と連携した美術鑑賞教育」を作成し、新宿区立小中学校及び他の美術館を中心に配布した。

【平成29年度 事業実施結果】

事前授業	小学校21校 903名、中学校4校 311名 合計25校 1,214名	ガイドスタッフ 延べ266名
鑑賞会	小学校28校 1,330名、中学校6校 434名 合計34校 1,764名、先生 164名	ガイドスタッフ 延べ581名
ガイドスタッフ在籍数 67名 活動延べ人数 847名		

(2) ギャラリー★で★トークアート

展覧会ごとに休館日1日を「ギャラリー★で★トークアート」の日(予約制)とし、ガイドスタッフや他の参加者と対話をしながら作品鑑賞を楽しんでもらった。

「吉田博展」では、夏休み企画として「ふぁみりー★で★とーく・あーと」と銘打ち、家族やグループでの参加を呼びかけた。

ランス美術館展	6/12(月) 14時～16時	参加者:47名 ガイドスタッフ:26名
吉田博展	8/21(月) 9時半～11時半	参加者:45名(うち中学生以下9名) ガイドスタッフ:25名
	8/21(月) 14時～16時	参加者:42名(うち中学生以下4名) ガイドスタッフ:22名
東郷青児展	10/30(月) 14時～16時	参加者:48名(うち中学生以下1名) ガイドスタッフ:23名
デンマーク・デザイン	12/18(月) 14時～16時	参加者:25名(うち中学生以下1名) ガイドスタッフ:19名
クインテットIV	2/5(月) 14時～16時	参加者:14名 ガイドスタッフ:15名
FACE展2018	3/26(月) 10時～12時	参加者:9名 ガイドスタッフ:16名

4. 助成関係事項

<1> 優秀な美術家の表彰

(1) 「FACE 2018 損保ジャパン日本興亜美術賞」の選考

(11月19日)

業務委託先(ヤマトロジスティクス(株))の倉庫において審査会を実施し、970点の応募作品の中から、五次審査により入選作品71点を選出し、入選作品の中から二次にわたる審査を行い、グランプリ等の受賞作品9点を決定した。

選考結果については、11月24日に応募者全員に郵送するとともに当館及び業務委託先のホームページで公表した。

審査員は、本江邦夫氏(多摩美術大学教授)、野口玲一氏(三菱一号館美術館学芸グループ長)、藪前知子氏(東京都現代美術館学芸員)、当館館長の4名である。

入選・受賞作品は、「FACE展2018 損保ジャパン日本興亜美術賞展」で展示した。

賞名	副賞金	作家名	作品
グランプリ	300万円 (作品買上を含む)	仙石 裕美 <small>ひろみ</small>	《それが来るたびに跳ぶ 降り立つ地面は跳ぶ前のそれとは異なっている》 アクリル・油彩・キャンバス
優秀賞	各 50万円	松本 啓希 <small>ひろき</small>	《生命の痕跡》 日本画材・寒冷紗・パネル
		阿部 操	《The beautiful day》 油彩・キャンバス
		井上 ゆかり	《ふたつの海》油彩・キャンバス
読売新聞社賞	10万円	邱 仁添 <small>きゅう じんてん</small>	《晚餐》油彩・キャンバス
本江邦夫 審査員特別賞	各 10万円	佐藤 凱 <small>かい</small>	《網》油彩・キャンバス
野口玲一 審査員特別賞		上田 葉介	《ぶつかり合う風の形》 油彩・キャンバス
藪前知子 審査員特別賞	各 10万円	赤松 加奈	《room407》 アクリル・画布・パネル
中島隆太 審査員特別賞		笹山 勝雄	《西上州の山々》 油彩・キャンバス
オーディエンス賞	各3万円 (他賞受賞者を除く)	笹山 勝雄	《西上州の山々》 油彩・キャンバス
		蜂谷 真須美	《歩》 油彩・キャンバス

- (2) 「FACE 2018 損保ジャパン日本興亜美術賞」表彰式 (2月23日)
43階ロビーにおいて表彰式を開催し、当財団理事長、読売新聞東京本社事業局美術館連絡協議会事務局長、審査員長が受賞者に表彰盾を授与した。当館館長が主催者挨拶を、審査員長が選考経過を報告し、グランプリを受賞した仙石裕美氏が受賞者を代表して謝辞を述べた。
- (3) 「FACE 2019 損保ジャパン日本興亜美術賞」公募規定の決定
堀元彰氏(東京オペラシティアートギャラリーチーフ・キュレーター)、山村仁志氏(東京都美術館学芸担当課長)、野口玲一氏(三菱一号館美術館学芸グループ長)、椿玲子氏(森美術館キュレーター)に外部審査員を委嘱した。
公募規定は2月下旬から順次「FACE 2018」の応募者、ギャラリー、公募美術団体、大学等へ送付した。また、館内配布するとともに当館ウェブサイトにも掲載している。

<2> 新進美術家の育成援助

新進美術家の支援・育成を目的とする「損保ジャパン日本興亜美術財団賞」を38団体の公募美術展平面部門での受賞者に授与した。

番号	展覧会名	授与年月日	受賞者	受賞作品名
1	第67回 モダンアート展	H29.4.2	橋本 淳也	Alive
2	第65回記念 光陽展	H29.4.2	黄地 昭代	ともに生きる
3	第76回 創元展	H29.4.5	前 知津子	構内5

番号	展覧会名	授与年月日	受賞者	受賞作品名
4	70周年記念 示現会展	H29.4.5	江口 登	ポスター・刻のライブ
5	第76回 水彩連盟展	H29.4.6	鈴置 昭	みずかけ
6	第77回 美術文化展	H29.4.10	上島 優子	「生きている」ということ
7	第103回 光風会展	H29.4.19	永山 秀男	静謐・ファサード
8	第94回 春陽展	H29.4.22	伊藤 昭二	晩冬畦道
9	第83回 東光展	H29.4.26	山口 忠彦	野末
10	第91回 国展	H29.5.3	古草 敦史	私の庭
11	第62回 新世紀展	H29.5.12	斉藤 照子	nostalgia II
12	第113回 太平洋展	H29.5.17	兼 忠志	氷柱・STOP 温暖化
13	第69回 三軌展	H29.5.20	猪田 斎	菜花につつまれて
14	第83回 旺玄展	H29.5.24	安間 由紀子	夏の終わりに
15	第70回記念 創造展	H29.5.25	濱野 美代子	ステージ
16	第71回 女流画家協会展	H29.5.29	大前 美登利	Vici ssi tude
17	第60回 新象展	H29.5.29	與那嶺 菊恵	点と位置と
18	第31回 日洋展	H29.5.31	上平 澄江	二月
19	第73回 現展	H29.6.3	竹内 功	灯の在処
20	第88回 第一美術展	H29.6.3	李 香淑	遠い道
21	105周年記念 日本水彩展	H29.6.8	廣瀬 富士夫	刻
22	第89回 新構造展	H29.6.25	近藤 瑞穂	兄妹
23	第96回 朱葉会展	H29.6.27	渡辺 喜美	20才のお祝いに
24	第53回 国際公募亜細亜現代美術展	H29.7.2	塩澤 美智子	自画像
25	第54回 近代美術協会展	H29.8.31	田嶋 佳子	丘風を背に
26	第53回 主体展	H29.9.1	原田 文子	月の頃
27	第102回 二科展	H29.9.6	日々野 恵美	Digital Cat I
28	第81回 新制作展	H29.9.20	下倉 剛史	過去
29	第60回記念 新協美術展	H29.9.20	竹田 雅文	雫の形 24
30	第72回 行動展	H29.9.20	坂本 和之	本町チャンスセンター付近
31	第79回 一水会展	H29.9.23	畠山 正枝	春の公園
32	第63回 一陽展	H29.10.4	奥村 佳弘	summer time
33	第85回 独立展	H29.10.18	伊藤 裕貴	想—転生'17—II
34	第71回 二紀展	H29.10.21	平野 良光	異化
35	第68回 一線美術会展	H29.10.21	長谷川 肇	初夢
36	第48回 元陽展	H29.11.3	小室 久美子	Presidio(サンフランシスコ)
37	第69回 中美展	H29.11.12	雨宮 純子	静寂
38	第94回 白日会展	H30.3.21	山内 大介	星のアダージョ

5. 公共への協力

<1> 文化行政への協力

- (1) 東京都心の東京革命推進協議会主催「都民ふれあいの日」に協力し、年間を通して18歳未満の子供を連れた都民に対する優待割引を実施した。
- (2) 埼玉県のスポーツ振興事業に協力し、「埼玉県文化・スポーツJOINTカード」によるスタンプラリーや観覧料割引を実施した。
- (3) 新宿消防署が主催する絵画展の審査員を当館学芸員が務めた。(5月30日)
- (4) 「東郷青児展」において、新宿区立小中学生の家庭に対し観覧券を配布した。
- (5) 10月1日はお客様感謝デーとして「東郷青児展」を観覧料無料で公開した。(観覧者数2,148名)また、新宿区主催「大新宿区まつり(10/1～10/31)」に協賛した。
- (6) 新宿区が主催する「来て・見て・楽しい フィールドミュージアム2017」(10/1～11/30)に協力し、イベント冊子の提示による「東郷青児展」の観覧料割引とスタンプラリーを実施した。

<2> その他

- (1) 学芸員資格取得のための博物館実習を次のとおり実施した。(8月15日～23日)
 実習期間：参加大学生：15校15名
 実践女子大学、武蔵野美術大学、学習院大学、成城大学、法政大学、昭和女子大学、多摩美術大学、東京女子大学、東京学芸大学、女子美術大学、跡見学園女子大学、青山学院大学、お茶の水女子大学、清泉女子大学、明治学院大学
- (2) 中学生のキャリア形成授業への協力
 職場訪問に協力し、新宿区立西戸山中学校の1年生6名を受入れた。(1月26日)

II 処務の概要

1. 役員等に関する事項

平成29年度末現在

職名	氏名	就任日	摘要	最初の就任日
理事長 代表理事 (非常勤)	二宮 雅也	H28.6.29	損害保険ジャパン日本興亜(株) 代表取締役会長	H28.1.21 (理事長就任) H27.12.17 (理事就任)
専務理事 業務執行理事 (常勤)	中島 隆太	H28.6.29	東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館館長	H27.6.26
理事 (非常勤)	寺坂 公雄	H28.6.29	画家、日本芸術院会員、 (公社)日展顧問、(一社)光風会理事長	S62.3.25
理事 (非常勤)	千足 伸行	H28.6.29	広島県立美術館館長、成城大学名誉教授	H10.6.24
理事 (非常勤)	樺山 紘一	H28.6.29	印刷博物館館長、東京大学名誉教授	H20.6.24
理事 (非常勤)	佐野 めい	H28.6.29	画家、女子美術大学名誉教授	H24.6.29
理事 (非常勤)	今野 秀洋	H28.6.29	三菱商事(株)取締役	H28.6.29

職名	氏名	就任日	摘要	最初の就任日
監事 (非常勤)	新里 智弘	H28.6.29	公認会計士	H19.6.19
監事 (非常勤)	内田 満雄	H28.6.29	公認会計士	H28.6.29
評議員 (非常勤)	真室 佳武	H26.6.26	東京都美術館館長	H17.6.14
評議員 (非常勤)	國分 正明	H26.6.26	前(一社)教職員生涯福祉財団会長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	高階 秀爾	H26.6.26	(公財)大原美術館館長、 (公財)西洋美術振興財団理事長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	遠山 敦子	H26.6.26	(公財)トヨタ財団理事長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	宝木 範義	H26.6.26	美術評論家	H20.6.24
評議員 (非常勤)	森田 富治郎	H26.6.26	第一生命保険(株)特別顧問	H20.6.24
評議員 (非常勤)	小佐野 重利	H26.6.26	東京大学名誉教授、東京大学大学院教育学研究科特任教授、東京大学フューチャーセンター推進機構特任研究員	H21.3.31
評議員 (非常勤)	馬越 陽子	H26.6.26	画家、独立美術協会会員、女流画家協会委員、多摩美術大学大学院客員教授	H24.6.29
評議員 (非常勤)	松広 清	H26.6.26	損害保険ジャパン日本興亜(株) 理事総務部長	H26.6.26
評議員 (非常勤)	青木 潔	H27.6.26	損害保険ジャパン日本興亜(株) 執行役員広報部長兼 CSR 室長	H27.6.26
評議員 (非常勤)	加藤 種男	H28.6.29	(公社)日展副理事長	H28.6.29
評議員 (非常勤)	越川 倫明	H28.6.29	東京藝術大学教授	H28.6.29
評議員 (非常勤)	大熊 雅美	H29.6.29	DIC(株)DIC 川村記念美術館館長	H29.6.29
評議員 (非常勤)	飯豊 聡	H29.6.29	損害保険ジャパン日本興亜(株) 取締役常務執行役員	H29.6.29
評議員 (非常勤)	吉川 浩一	H29.6.29	損害保険ジャパン日本興亜(株) 取締役常務執行役員	H29.6.29
顧問 (非常勤)	原口 秀夫	H29.6.26	前(公財)損保ジャパン日本興亜美術財団 専務理事	H27.6.26

2. 職員に関する事項

平成29年度末現在

職名	氏名	就業年月日	担任業務	備考
事務局長	林 圭一	H28.4.1	事務局事務統括	損害保険ジャパン日本興亜(株)より出向

職名	氏名	就業年月日	担任業務	備考
部長	鴛海 晋	H29.4.1	館長特命事項	損害保険ジャパン日本興亜(株)より出向
学芸課長	五十嵐 卓	H11.4.1	資料の収集・保管・展示、調査研究、その他専門的業務	
主任学芸員	小林 晶子	H9.9.1	〃	
主任学芸員	中島 啓子	H9.10.1	〃	
主任学芸員	江川 均	H10.4.1	〃	
学芸員	武笠 由以子	H29.10.1	〃	
事務職員	出口 知子	H11.10.1	財団総務・美術館運営事務他	
事務職員	本條 志穂	H15.10.1	美術館運営事務、広報事務他	
事務職員	池田 美紀	H24.4.1	〃	
事務職員	杉本 典子	H24.4.1	美術館広報事務他	
事務職員	吉井 有紀	H25.4.1	鑑賞教育事務、広報事務他	

3. 役員会等に関する事項

<1> 理事会

開会年月日	議事事項等	会議の結果
平成29年6月8日	<p>■決議事項</p> <p>定時評議員会の招集 平成28年度事業報告及び決算報告の承認</p> <p>■報告事項</p> <p>活動状況報告(平成29年3月1日～5月末) 理事長・専務理事の職務執行状況 (平成29年3月1日～5月末) 理事の利益相反取引の報告 (平成28年4月～平成29年3月)</p>	<p>原案どおり可決 原案どおり可決</p>
平成30年3月29日	<p>■決議事項</p> <p>平成30年度事業計画及び収支予算書等の承認 平成31年度展覧会の開催 特定費用準備資金の積立</p> <p>■報告事項</p> <p>活動状況報告(平成28年6月～2月末) 理事長・専務理事の職務執行状況の報告 (平成28年6月～2月末)</p>	<p>原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決</p>

<2> 評議員会

開会年月日	議事事項等	会議の結果
平成29年6月29日	■決議事項 平成28年度決算報告の承認 評議員の選任 ■報告事項 平成28年度事業報告 平成29年度事業計画及び収支予算等	原案どおり可決 原案どおり選任

4. 許可、認可、届出、承認及びその他の重要事項

申請等年月日	申請等事項
平成29年6月13日	東京都及び文部科学省へ「青少年を対象とした取組等に関する実績報告(平成28年度)」を提出
平成29年6月30日	内閣府へ平成28年度事業報告等を提出
平成29年7月22日	内閣府へ評議員及び理事の変更を届出
平成30年3月29日	内閣府へ平成30年度事業計画書等を提出

5. 寄付金等に関する事項

寄付の目的	寄付者	領収金額
公益目的事業に充当	損害保険ジャパン日本興亜(株)	49,700,000 円
法人の管理運営に充当	損害保険ジャパン日本興亜(株)	21,300,000 円
公益目的事業に充当	法人 37件	6,585,000 円
公益目的事業に充当	個人 51件	2,224,000 円

6. 行政庁指示に関する事項

該当なし

7. その他

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は、特記事項がないため作成していない。

以上